



藤生家住宅

所在地 桐生市広沢町 5-5-1179

所有者 藤生 光治氏

藤生家は、先祖を桐生城の城代家老藤生紀伊守に遡るほどの家柄であり、近世になって桐生を代表する機業家になった。特に明治時代初期に活躍した藤生佐吉郎は、半木製ジャガード機の研究や紋彫器であるピアノマシンを独自に開発し、また、いち早く洋式染色法を取り入れるなど桐生の織物技術の近代化とその発展に大きな足跡を残している。

明治22年に発行された銅版画には藤生家の広大な屋敷が鳥瞰図として描かれているが、現在の藤生家は当時のままの様子を留めている。

敷地ほぼ中央に南面して建つ主屋は元茅葺屋根の建物で、屋根の大きさが特徴的である。木造平屋建て、入母屋造りであるが、屋根は銅版に葺き替えられ、越屋根も作り変えられている。玄関に入ると中央は土間で、東側は改造されて板敷きの応接間と納戸になっている。土間部は背後まで通り抜けられるようになっており、東側は糸拵場として板敷きで、染色場は主屋背後に建てられていたという。

現当主により原状を活かした巧みな改修が行われ、桐生織物の近代化をたどる貴重な建物となっている。

